

結果の概要

1 推計人口

人口は減少が続くも、世帯数は増加

令和2（2020）年9月1日現在の人口は145万9,132人、世帯数は72万8,499世帯で、前年同月と比べて人口は6,478人（0.4%）の減少、世帯数は3,049世帯（0.4%）の増加となっています。人口を男女別にみますと、男性は69万741人、女性は76万8,391人で、前年同月と比べて男性は3,244人（0.5%）、女性は3,234人（0.4%）の減少となりました。

図1 月次推移（各月1日現在）

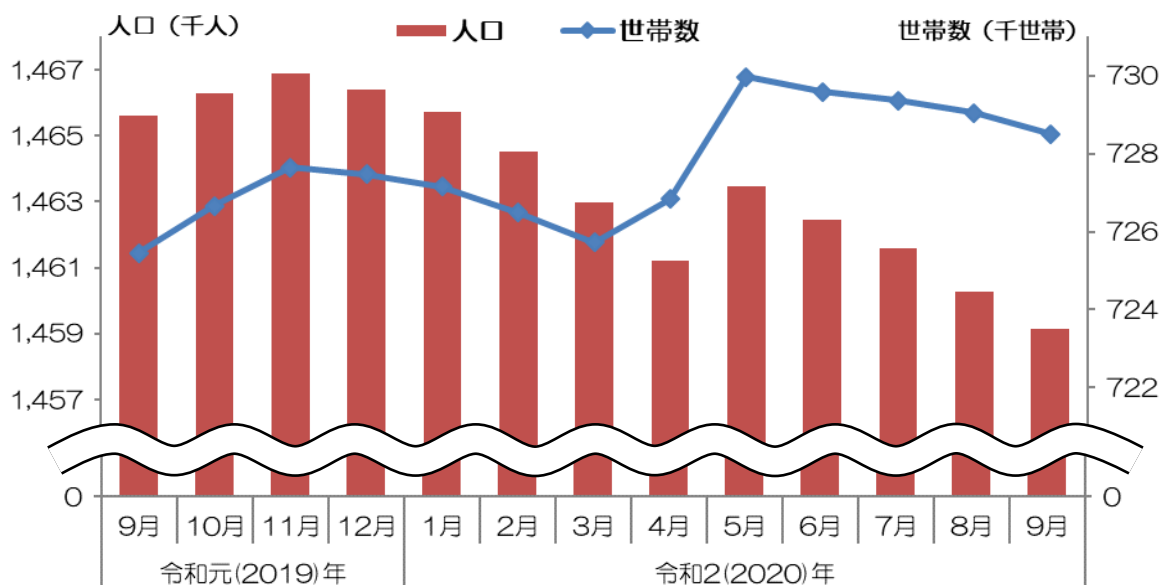
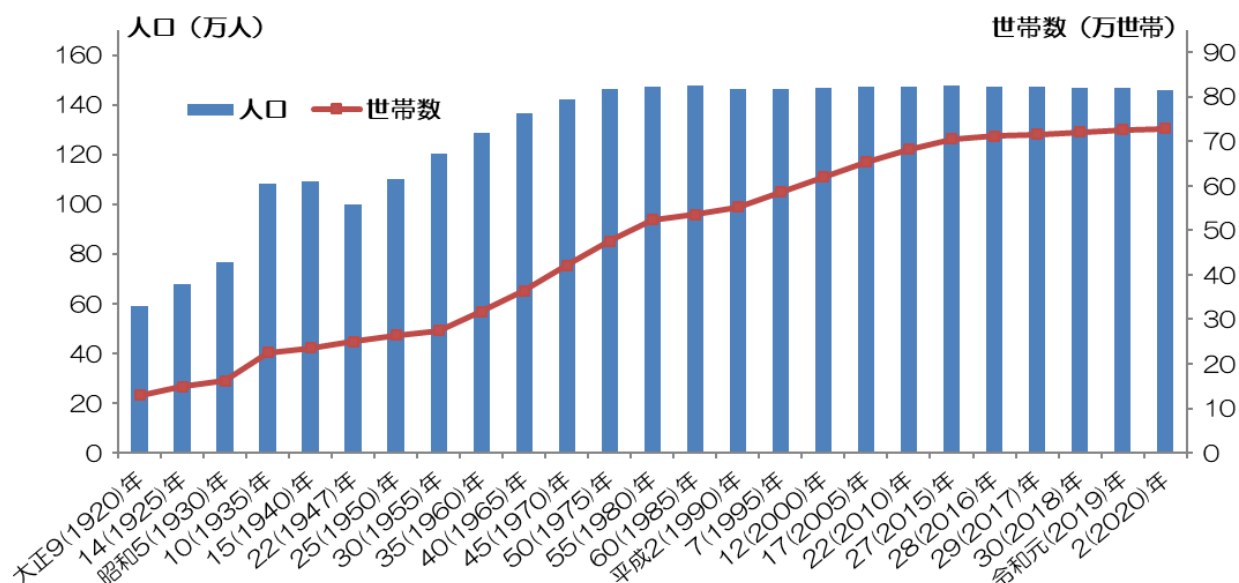


図2 年次推移

（各年10月1日現在。令和2（2020）年のみ9月1日現在）

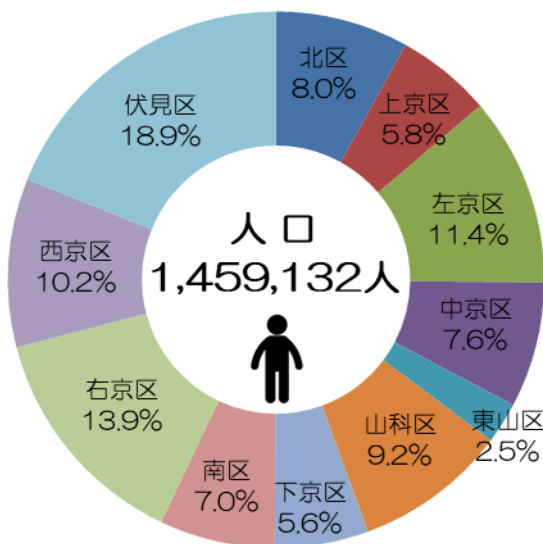


（注）平成27（2015）年までは国勢調査結果、平成28（2016）年以降は推計人口である。

令和2（2020）年9月1日現在の人口を行政区別にみますと、最も多いのは伏見区の27万5,741人（全体に占める割合は18.9%）で、次いで右京区の20万2,739人（同13.9%）、左京区の16万6,310人（同11.4%）と続いています。

一方、人口が最も少ないのは東山区の3万6,509人（同2.5%）で、次いで下京区の8万2,250人（同5.6%）、上京区の8万3,935人（同5.8%）の順となっています。

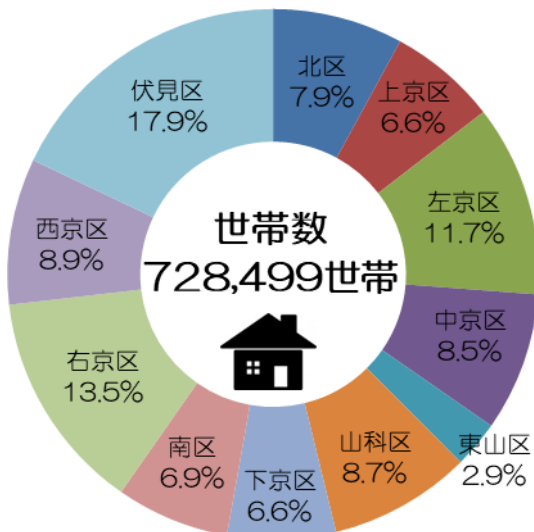
図3 行政区別人口の割合（令和2（2020）年9月1日現在）



令和2（2020）年9月1日現在の世帯数を行政区別にみますと、最も多いのは伏見区の13万568世帯（全体に占める割合は17.9%）で、次いで右京区の9万8,145世帯（同13.5%）、左京区の8万5,162世帯（同11.7%）と続いています。

一方、世帯数が最も少ないのは東山区の2万776世帯（同2.9%）で、次いで上京区の4万7,977世帯（同6.6%）、下京区の4万8,073世帯（同6.6%）の順となっています。

図4 行政区別世帯の割合（令和2（2020）年9月1日現在）



2 人口動態

(1) 自然動態

出生数が減少、自然動態のマイナス幅が拡大

この1年間（令和元（2019）年10月から令和2（2020）年9月まで）の自然動態をみると、出生数は9,548人で2年連続1万人を下回り、前年と比べて352人（3.6%）の減少、死亡数は1万5,229人で、前年と比べて193人（1.3%）の増加となりました。

この結果、自然動態による増減数は5,681人の減少となり、前年よりも自然動態のマイナス幅が拡大しました。

図5 自然動態月次推移

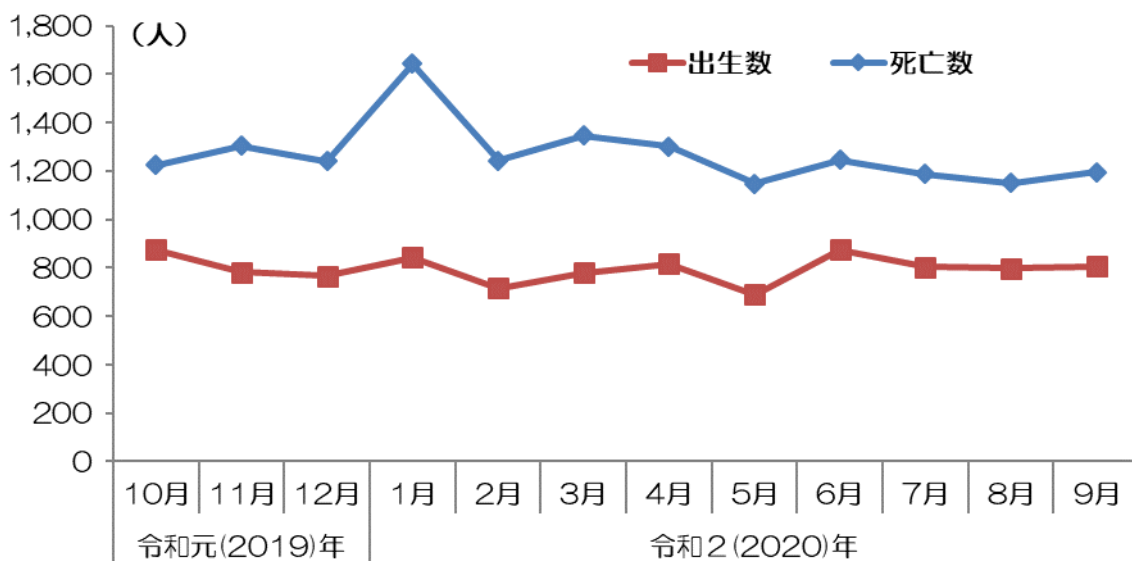
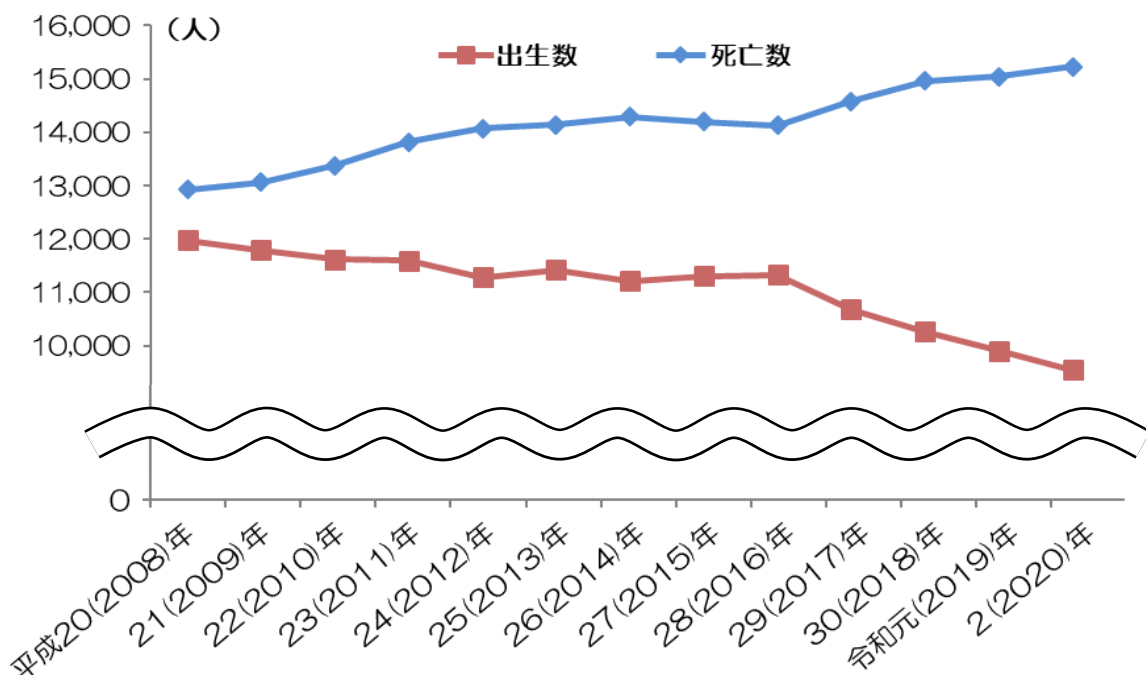


図6 自然動態年次推移

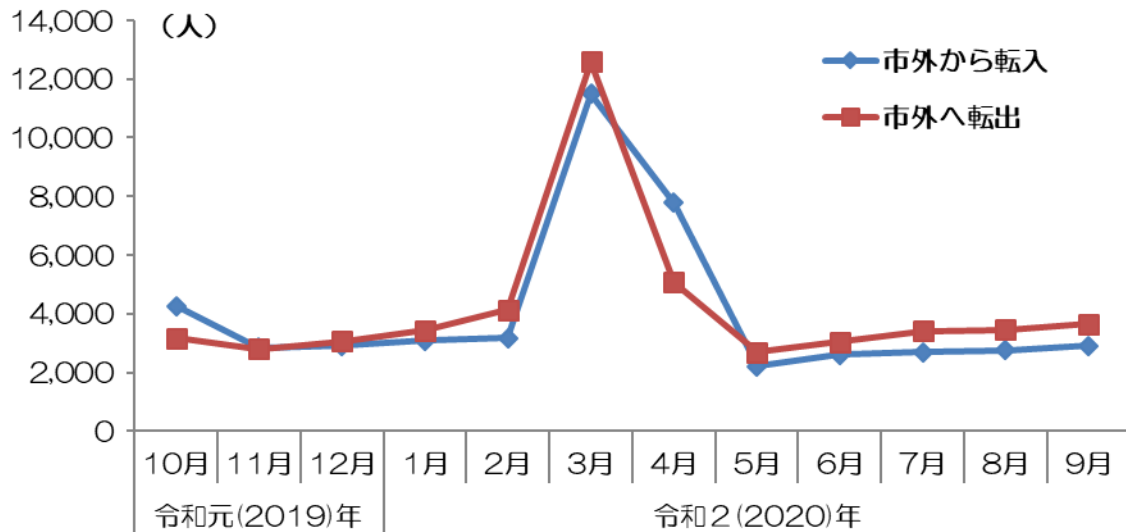


(2) 社会動態

転入が10万人を下回り、転出超過となる

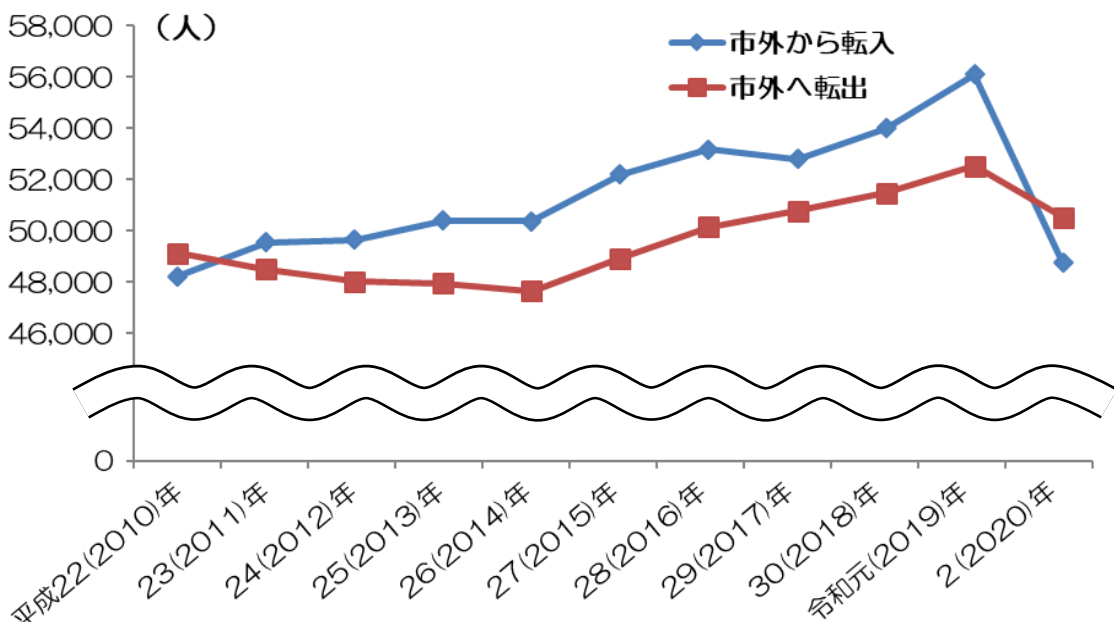
この1年間（令和元（2019）年10月から令和2（2020）年9月まで）の社会動態をみますと、転入は9万9,120人と10万人を下回り、前年と比べて8,929人（8.3%）の減少、転出も10万883人で、前年と比べて3,576人（3.4%）の減少となり、平成23（2011）年から9年維持していた転入超過から、転出超過となりました（その他の異動は含まない）。

図7 社会動態月次推移



(注) 市内異動（区内・市内他区）を除く。

図8 社会動態年次推移



(注) 市内異動（区内・市内他区）を除く。